

# 3歳の壁を突き崩す 小規模保育の全年齢化を！

～「待機児童」が死語となる  
一億総活躍社会へ～

全国小規模保育協議会 理事長  
認定NPO法人フローレンス 代表理事  
内閣府子ども子育て会議 委員  
駒崎弘樹

# これまでの国家戦略特区提案の成果

✓ **保育士不足解消のため、年1回だった保育士試験を2回化(地域限定保育士)**

→平成27年度の地域限定保育士合格者は2,384人

→全合格者の**1割**に！

✓ 「小規模保育園に大人用障害者トイレをつけなくてはならない」という**過剰なルールを撤回**

→小規模保育施設基準(バリアフリー規制)の明確化

→小規模保育が更に開園しやすく！

# 待機児童を救うために、お願いしたいこと

- ✓ 小規模認可保育所は、既存の大規模な認可保育所に比べてつくりやすい
- ✓ 今年度2429ヶ所、昨年対比46%で激増中
- ✓ しかし「0～2歳まで」と過剰に規制され、3歳以降保育難民に(3歳の壁)
- ✓ 自治体もそれを理由に、小規模保育をつくらせない動き
- ✓ 小規模保育で5歳まで預かれるように！(小規模保育の全年齢化)

# 参考：医ケア児家庭を救う規制緩和を！

- ✓ 経管栄養など、医療的ケアを要する「**医療的ケア児**」は、  
医学の進歩によって増え続けている
- ✓ しかし、**学校に看護師が配置されていないため、親が学校にずっと同伴しなくてはならず、**母親が退職せざるを得ない****状況に
- ✓ 訪問看護が学校に来てくれれば問題は解決するが、  
制度上「**居宅しぼり**」があって、**学校には訪問できない**
- ✓ 特区において、**訪問看護の「居宅しぼり」を外し、医療的ケア児の親も仕事を辞めずに、普通に義務教育を受けられる一億総活躍社会を！**